

宮城県助産師会だより

第12号 発行日2014年1月

宮城県助産師会

新年特大号！！

2014年、助産師活動のさらなる飛躍を祈念して

巻頭言

成育環境が整うことの大切さ

これからの助産師会活動に期待して・・・

宮城県助産師会
会長 後藤美子



新年になり、早1か月、宮城県助産師会会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日々活躍のことと存じます。日頃より、宮城県助産師会活動にご協力いただき有難うございます。

平成25年度も残すところ2か月、今年度の事業は会員の皆さまのご協力により、順調に進んでおります。今年度の事業で特筆すべきは6月29日に電力ビルで開催した「助産師フェスタ in みやぎ」でした。多くの県民の皆様にご来場いただきました。運営協力委員として多くの会員の方々に、ご協力いただき盛会に終える事ができました。改めて御礼申し上げます。有難うございました。これからも、多くの会員の皆さまが関与できる事業を各部会・委員会で企画できたらと考えております。今後とも会員の皆さまのご協力をお願い致します。

私事ですが、助産師会事務所の敷地に夫が少しばかりの家庭菜園を作っております。このあたりの土地は岩盤でその上に土を盛り、畑にしております。土は50Cm位入れたようです。昨年はサツマイモや大根を植えておりました。収穫したら写真のようなサツマイモ！！（胎児と胎盤？に見えませんか。助産師だからこう見たのかしら・・・）と大根！！（6股と多肢？）でした。固い岩盤の上、浅い土で必死に生育した結果ださうです。育つ環境つまり土の影響とのこと。野菜がうまく育つには、ふかふかの土、そして必要な深さが必要ださうです。土づくりをしっかり行えば、このような形ではなく、すらっとしたものに生育できたららうにと・・・。環境を整えればと、ちょっと考えさせられました。

少子化といわれて久しくなりますが、現代社会も母親が子どもを育てにくい環境、そして、子どもも健やかに育ちにくい環境が多いのではないのでしょうか？

女性が結婚・妊娠・出産しやすい環境を整えること、子どもたちを育てやすい成育環境を整えることで虐待や育児放棄・いじめなど母子や子育てに関する問題が減るのではないかと思います。助産は女性のライフサイクルへの支援とマタニティサイクルへの支援です。中でも、マタニティ周辺への関わりをしっかりとすることが母子の幸せのための第一の環境整備、助産師ができることではないかと思いました。

最後に、今年も会員の皆さまのご協力のもと、宮城県助産師会の活動を活発に推進して参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

目次：

巻頭言	1
支援センター便り	2
11月16日勉強会報告	3
じょさんしサロン報告	4
助産院見学会報告	5
ママサポートタクシー研修会	6
塩釜地区の母子保健推進活動報告	7
光ヶ丘スペルマン病院	8
各種お知らせ	9
広告など	10

すっすごい(°_°)



会員の皆様に大切なお知らせ

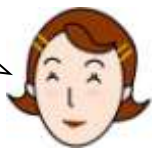
日本助産師会主催の
安否確認訓練2.10 全員参加を！！

●災害の想定：
平成26年2月10日(月)午前10時に
「震度6の地震」「津波はない」が宮城県で発生。
詳しくは、同封の説明用紙をご覧ください。
災害対策委員長 塩野悦子
メール：siono@myu.ac.jp， 電話&FAX:022-377-8272

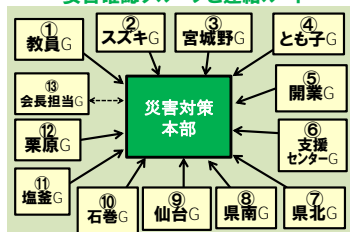
～宮城県助産師会ロゴマーク決定～



H26年1月18日の役員会で、宮城県助産師会のロゴマークが上記承認されました。母と赤ちゃんをモチーフにデザインされました。次年度の会員証にこのロゴマークが入ります。ご意見は、宮城県助産師会事務局へ



安否確認グループと連絡ルート



みやぎ子育て
女性健康支援センター便り



平成25年講演先一覧

1/18	西山小学校	7/13	石巻中学校	10/4	米山中学校
1/25	丸森第一中学校	7/16	石巻商業高校	10/9	泉松陵高校
2/8	根白石中学校	7/16	五橋中学校	10/24	宮城県工業高校
2/25	日吉台中学校	7/16	柴田農林川崎校	10/25	のびすく宮城野
3/16	赤ちゃん大学泉	7/17	南小泉中学校	10/25	宮城県利府高校
4/13	赤ちゃん大学長町	7/18	館中学校	11/1	八木山中学校
5/25	赤ちゃん大学泉	7/19	泉館山高校	11/8	角田高校
6/8	赤ちゃん大学長町	7/20	赤ちゃん大学泉店	11/9	赤ちゃん大学長町
6/19	大志高校(昼間)	8/30	のびすく宮城野	11/18	大河原管内養護教諭研修会
6/19	大志高校(夜間)	9/3	幸町中学校	11/22	南光台中学校
6/23	のびすく仙台	9/12	石巻好文館高校	11/22	金成中学校
6/25	寺岡中学校	9/1	角田中学校	11/30	角田 大内小学校
6/28	南高校	9/20	鶴巻小学校	12/2	高清水中学校
7/4	八幡小学校	9/21	赤ちゃん大学泉店	12/15	のびすく仙台
7/5	蔵王高校	9/27	田子中学校		



講演活動の様子です。



事務連絡

旧年中の皆様のご支援に感謝致します。
平成25年の講演先をご報告致します。なお、電話・メール相談は別途ご報告致します。
今、支援センター役員は今世代交代の時期を迎えております。皆様には思春期関連の研修を受けて頂き、センター登録して頂くことをお願い致します。なお、平成26年度の講演先予定は、ブログでお知らせ致します。講演見学希望者大歓迎です。希望者は支援センターまでご連絡下さい。

みやぎ子育て・女性健康支援センター連絡先

電話 022-229-2388

Eメール siensenter@gmail.com

HPアドレス <http://woman-assist.sakura.ne.jp/>



「自己解決のヒントを伝えたい」 助産師 高津真理子

昨年12月20日に忘年会を兼ねた連絡会を行い、後藤代表理事にも参加していただきました。7月から電話相談・マタニティスクールに加わって頂いている枝並さん、子育て真っ最中の高野さんも参加しました。

電話相談時の難しい事例の相談の仕方についてなど、情報交換もしました。昨年から、仙台市の「妊娠ほっとライン」を受けるようになり、担当時間が10:00～19:00と長くなりましたので、携帯転送とはいえ、気持ちの部分での緊張も長くなりました。現在は5人で担当していますが、月1回でも担当して下さる方が増えることを心待ちにしています。

電話相談では、不安をかかえる相談者の顔は見えません。傾聴し声のトーンから相談者の心を推察し、自己解決のヒントや情報提供が出来、少しでも明るい声で相談を終えて頂ける様心がけています。

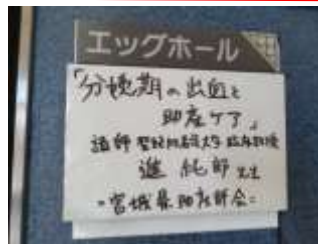
「分娩時の出血と助産ケア」
 聖路加看護大学 臨床教授 進純郎先生の勉強会に参加して
 光が丘スペルマン病院 菊池千加子



私は東仙台にあるスペルマン病院に勤めて8年になります。以前は転勤族で、2～3年ごとに勤務病院が変わり、たくさんの助産師仲間と出会いました。助産師会主催の勉強会に時々参加していましたが、仙台は会場が近いので参加しやすいです。

自然分娩では約10%に産後出血が800mlを越える可能性があるということでした。「出血が多い」と思ったら、早めの対応が必要です。分娩後出血発症直後の対応は、子宮圧迫、ルート確保と輸液開始、子宮収縮剤の投与、酸素投与、体位変換をすることです。また補液のルールも詳しく学ぶことができました。

進先生は岩手の大自然の中で奥様と暮らしています。たくさんの猫もいて、日々猫の出産にも立ち会っているそうです。先生は「君たちは、生まれながらに助産師になる運命だった。」と話されました。うれしく、温かな気持ちになりました。誇りを持って仕事に励まなければと思いました。



進 純郎先生
 助産師の向上心をくすぐるお話ばかりでした。



久しぶりに会い、談笑する様子



参加者でいっぱいの会場



たくさんの質問がありました



被災地での0歳児の母親が集う場づくり —じょさんしサロンの実践報告—

I. はじめに

東日本大震災後、M県には震災による被災者や福島原発による事故のための避難者などが居住している。孤独感や経済的ストレスを抱えている家族も多く、特に、生後1年未満の乳児をもつ母親のストレスは計り知れない。

そこでM県助産師会保健指導部会では、被災地において0歳児の母親が集う場を作り、母親の孤立解消と保健知識の向上を目的とした“じょさんしサロン”を実施している。

この支援は公益社団法人日本看護協会東日本大震災復興支援事業による助成を受けており、平成24年11月から平成26年3月までの実施の予定であるが、今回、その実施状況について中間報告する。

II. 実践内容

- ①期間：平成24年11月～平成25年7月。
- ②対象：生後1年未満の乳児の母親。
- ③実践方法：被災地の子育て支援施設や保健センターの協力を得て、“じょさんしサロン”を開催。
1回2時間とし、定員8～12組の予約制とした。
■前半はベビーマッサージ、ふれあい遊び、ベビーマッサージのいずれかの講座体験
■後半は母親交流と助産師による育児相談
- ④終了時に無記名式事後アンケート調査を実施。

III. 倫理的配慮

事後アンケート調査において、調査趣旨を説明し、協力参加には自由意思を尊重した。また記入は無記名とし、個人が特定されないように配慮した。



IV. 結果

- ①開催回数：24回
- ②参加した親子：264組
- ③スタッフ数（のべ人数）
助産師（40名）
開催施設スタッフ（11名）
事務スタッフ（10名）
看護学生（1名）

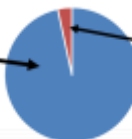


A市内19回、B町1回、沿岸部4回

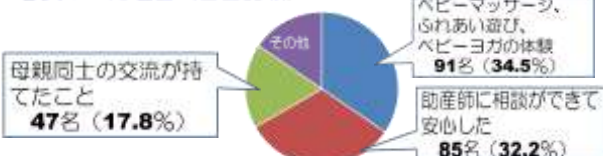
④参加満足度

参加して「良かった」
255名（96.6%）

まあまあ良かった9名
良くなかった0名



⑤良かった理由（自由記載）



〇武者文子¹⁾ 塩野悦子²⁾

- 1) 一般社団法人 宮城県助産師会保健指導部会長、母乳育児相談室まんなはうす
- 2) 一般社団法人 宮城県助産師会災害対策委員、宮城大学看護学部

◎今後の希望企画（自由記載）

- ベビーマッサージ 20名
- 同月齢児の親の交流 20名
- 手遊びやわらべうた 20名
- ベビーマッサージ 16名
- 離乳食13名、ヨガ11名 他



⑦自由欄

●運営に関すること

- ・A市内ではなかなか予約がとれない
- ・回数増やしてほしい
- ・今後も続けてほしい
- ・無料は嬉しい
- ・資料がほしい
- ・もっと多くの人に体験してほしい等

●交流に関すること

- ・育児の悩みや相談を聞いてもらいたい
- ・もっと話し合う時間がほしい
- ・ママが集まり話し合う場所が欲しい等

⑧助産師への相談内容

- ・離乳食
- ・夜泣き
- ・母乳
- ・上の子への対応
- ・3～4世帯家族での育児の悩み
- ・予防接種
- ・歯磨き
- ・発達に関すること等



V. 考察

ほとんどの参加者が満足し、その主な理由からも、本サロン活動の目的が達成されているといえる。ただしそれでも様々な母親の交流の要望が多いことから、被災地では子育て中の母親が集い話せる場をさらに重ねる必要がある。

特に津波被害が大きかった沿岸部では母子人口が減ったため、母親同士が交流できる場そのものが非常に少ない。被害が大きかった地域ほど本サロン活動の意義は大きい。助産師が仕事をしながら遠方にサロン運営をどのようにしていくかは今後の現実的課題である。

本サロン活動は地域での母子の孤立化を減らし、母親の保健知識の向上のために有用な事業であるため、継続して実施できるように各機関にも働きかけたい。

VI. 結論

- ほとんどの参加者が本サロン活動に満足していた。
- 満足理由は、ベビーマッサージ等による子どもとの触れ合い、母親同士の交流、助産師への相談による安心感などであった。
- 今後の課題は、継続方法（資金面）と、助産師が勤務しながらの遠方での開催である。



泉区・太白区の助産院見学ツアーに参加して 木島典子



この度入会させていただきました木島典子と申します。
2014年4月に主人が一番町で乳腺クリニックを開業させていただきましたので、現在はそちらの手伝いをしています。

今回市内の助産院を見学させていただきました。なかなか伺う機会がないので、今回参加させていただくことができよかったです。実際に伺って、どこの助産院さんも居心地がよく、温かみを感じる空間でした。その温かい空間で、来院されている方がどのような悩みを抱えてくるのか、助産師がどのような思いを持って運営されているのかなどのお話を聞いたのも今回の企画に参加してよかったと思う点でした。参加された方々もとても勉強熱心で同じ時間を過ごし、思いを話せたことがとてもうれしかったです。とても充実した時間を過ごさせていただきありがとうございました。

これからも新しい情報を勉強会等で得ていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いたします。



氏家母乳育児相談室で



助産院カイロライトスノー



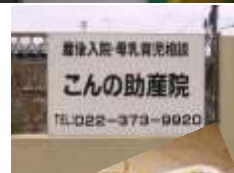
泉区の助産院見学ツアー



泉区は、氏家母乳育児相談室→助産院カイロライトスノー→こんの助産院の順番でまわりました。



こんの助産院での懇談の様子



こんの助産院自慢の自然食をおみやげに

太白区の助産院見学ツアー

太白区は、かとう母乳相談室→母乳育児相談室 まんまはうすの順番でまわりました。



かとう母乳育児相談室で



みんなでティータイム

第12号

ママサポートタクシー研修会報告

理事 伊藤朋子

去る11月に第一交通タクシー会社が、「ママサポートタクシー」を開始するために研修会を開催しました。助産師会に講師の依頼があったため、後藤会長・仙台医療センター助産学校の板元先生・とも子助産院スタッフの石澤さんと私・伊藤が行って参りました。

産婦さんを産院へお連れする時のサポートの仕方について、お話ししました。ドライバーの皆さん、真剣に聞いてくださいました。そして、全員に妊婦体験ジャケット着用での、タクシーの乗り降りなど体験していただきました。リアルな疑似妊婦により、実践ながらのロールプレイ。ベテランドライバーさんたちは、産婦さん役の石澤の無茶振りにも動ぜず、さすがでした。仙台医療センター助産学校の板元先生のアドバイスも的確でした。後藤会長より、修了証書授与され研修は終了しました。

あらかじめ登録している妊婦さんに、お産の送迎に行く時は、破水しても大丈夫のように、防水シートを敷いてタクシーがお迎えに来てくれるサービスだそうです。頼もしいです。

別団体の方々との交流もでき、有意義な研修会でした。今後もこのような研修会の輪が広がればよいと思いました。



後藤会長をはじめ、講師のみなさん

～第一交通タクシーでの研修風景～



妊婦体験ジャケットを着用する第一交通タクシードライバーさん



伊藤助産師の講義の様子



ロールプレイで疑似体験



修了証書授与



ははこっこ助産院加藤道子会員が大崎市の推薦により第35回母子保健奨励賞を受賞しました。以下は、毎日新聞の記事を抜粋したものです加藤道子さんおめでとうございます！！

母子保健の発展と向上に活躍した個人をたたえる第35回母子保健奨励賞(母子衛生研究会・第35回母子保健功労顕彰会主催、厚生労働省・全国衛生部長会・毎日新聞社・NHK後援、日本ケミカルリサーチ協賛)の表彰式が22日、東京都文京区の東京ガーデンパレスであった。

毎日新聞社賞を受賞した助産師、加藤道子さん(47)・・・受賞者は同日夕、東宮御所(東京都港区)を訪れ、皇太子さまからお祝いと激励を受けた。皇太子さまは、加藤さんに東日本大震災の被災の状況を尋ねたり、受賞者と約40分にわたり懇談した。【山寺香、大久保和夫】

毎日新聞 2013年11月22日 20時00分



塩釜地区母子保健推進ネットワーク活動について ネットワークの力で、地域のお母さんと赤ちゃんを支えよう！

いけの産婦人科小児科医院 青山幸恵

塩釜地区母子保健推進ネットワークは、坂総合病院、遠藤マタニティクリニック、松島病院、ウィメンズクリニック利府、いけの医院で勤務している助産師と開業助産師の笠松愛子さん、高津真理子さんが事務局として活動しております。震災後、塩釜地区の母子保健の推進と看護力の底上げという目的で立ち上げました。

東日本大震災を経て、「1人や1施設のみでは限界がある。普段から連携した活動をすることで、被災時にはスムーズに情報交換が出来、協力しあえる。また、日常の支援を必要とする地域のお母さんや赤ちゃんたちに、もっと充実した支援を提供できるのでは」という思いから2011年5月より、毎月1回勤務先の会議室を借用して集まり、活動内容の企画、運営を行っています。関係性が深まり、施設間や保健センターとの連携もスムーズになりました。

災害対策では、患者状況、職員の状況、施設の被害状況、確認事項、診療状況、等が記載できる施設共通の「災害時チェックリスト」や「～大震災時の備え～赤ちゃんとお母さんの安全安心のしおり」の作成を行いました。現在は、各施設対応のアクションカードのひな形を検討中です。また「塩釜地区母子保健連絡用紙」を作成し病院と行政間での情報交換に活用しています。更に地域全体の看護力のスキルアップを目的とし、3ヶ月に1回、講師を招いて看護職や医師らに向け研修会を開催しています。9月現在「妊娠期の栄養」「新生児蘇生法について」「母乳育児について。」「ヘモタンポン療法の実際」「最近の被災地でのDVの現状と対策」等開催し参加者も多数で大変好評でした。また生後2～6カ月までの親子を対象に毎月、ベビーマッサージやストレッチ体操、お茶会などを開催し大変好評です。現在は公益法人日本看護協会より災害支援金が配分されこの資金を基に参加費無料で実施しています。今後とも地域全体でお母さんや赤ちゃんを見守るためにネットワーク活動を継続したいと思っております。



地域全体の看護力のスキルアップを目的とし、3ヵ月に1回、講師を招いて看護職や医師らに向けた研修会開催の様子



生後2～6カ月までの親子が対象の、ベビーマッサージやストレッチ体操、お茶会の様子



活発な活動の様子が窺えますね
今後の活動が楽しみです。

第12号

生き生きと働いています！

光ヶ丘スペルマン病院
Ⅲ病棟棟長 佐藤雪路

光ヶ丘スペルマン病院は、なんとなく昭和の匂いのする病院です。昭和56年に開設され、10600名余りのベビーちゃんが産声をあげました。現在、16名の(2名育休中)助産師がお産、育児に関するサポートをしています。

「生涯現役！100歳まで生きる！」をモットーにお産に心血注ぐ小野寺弘医師のもと、自立した助産師をめざして個性豊かに伸び伸びと働いています。

お産大好き！な小野寺医師が「畳」と共に着任してフリースタイルが本格始動しました。それから13年、今では分娩台の使い方を忘れてしまう程となっていました。出産されたお母さま方が思いのたけを書き綴る「つぶやきノート」には、たくさんのフリースタイル万歳！の声が寄せられています。産婦さんと同じ目線にご主人やお子さん、そして助産師のいる世界は素敵ですよ。

助産師外来では、健康診査に加えて超音波を使い胎児の成長の様子を妊婦さんにお伝えしています。助産師外来で研鑽を積んだ超音波の技術は、分娩時の進行状態を確認する上で大いに活かされています。

他には、産後の育児サークルとして、月齢に応じた「ママクラブ」「ピヨピヨクラブ」「遊ぼう会」など、タッチングのボランティアさんや保育士さん、小児科医師などの協力を得て、趣向を凝らしたクラスを催しています。分娩施設を越えた母子の出会いや集いの場となっていることから、毎回多くの方が参加しています。H25年1月からは、妊婦さんとその夫を対象にした「両親学級」も始まり、毎回好評で充実したクラスとなっています。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りくださいませ。



向かって左から
菊池千加子助産師
伊藤智恵子助産師
千田道代助産師



筆者 佐藤雪路助産師長

スペルマン病院の
宮城県助産師会会員様の面々



川村三春助産師



小野寺医師



ピヨピヨクラブ

スペルマン病院での
助産師主催の活動の様子



母親学級、フリースタイル編
「フリースタイル分娩」熱演中！



ボランティアさんのタッチングシーン



両親学級

毎回3~5組のご夫婦の参加があります
ご主人方が妊婦ジャケットを着て「はいポーズ♪」



第12号

これから宮城県助産師会が開催する研修会・イベントのご案内

H26年3月25日(火)
じょさんしサロンin南三陸
お近くにお住まいのママ達
にお知らせくださいね。
よろしくお祈りします。



H26年2月13日(木)18:10~
仙台市太白区文化センター展示ホールで、
前回も好評だった乳腺炎についての勉強会
を開催します。職場の仲間を誘って、奮っ
てご参加ください！チラシを同封しています。



H26年7月5日(土)6日(日)日本助産師会・
勤務部会集会在宮城県で開催されることにな
りました。全国の助産師が集まる大きな集會で
す。ホットな講演内容になっています。
会員様多数のご参加お待ちしております。
7月5日 エルパークスタジオホール
7月6日 エルパークセミナーホール1・2



H26年度一般社団法人宮城県助産師会通常総会

4月19日(土)午前の部(総会)
情報・産業プラザ(アエル6階)
セミナールーム(2)
同日13:00~

市民講座「助産師が伝えるいのちの話」

香川県からぼっこ助産院院長・いのちの応援者理事長の
山本文子先生にお越しいただき、これまで思春期の子ど
もや親に伝えてきたいろんなお話をさせていただきます。



今後の新しいイベント予定や情報・イベ
ント報告は、随時ホームページにupさ
れますので、会員の皆様！checkし
てみてくださいね。



編集後記

ついに年をまたぎましたね。今年度も残り3か月弱。会員の皆様と共に健康で終わりたいものです。12号では、各地での助産師活動報告が目白押しでした。来年度の活動に弾みがつくといいですね。記事を書いてくださった皆様、ご協力ありがとうございました(*^^)v
今回から他企業様の広告を掲載する事になりました。

広報委員 山口・伊藤

宮城県助産師会

電話・FAX:022-244-8007
ホームページもご覧ください
<http://www.midwife-miyagi.net/>

第12号

平成28年度公益法人日本助産師会通常総会の

～メインテーマ募集～

平成28年5月に宮城県で公益法人日本助産師会通常総会が開かれます

講師を、川島隆太教授にお願いする予定です。どんな講演内容にするか、皆様にご意見ご希望を募りたいと思います。

そのためには、メインテーマを決めなくてはなりません。そこで・・・メインテーマを募集いたします。宮城県助産師会皆様の力で、有意義な総会にしたいと思っております。会員の皆様、ご協力お願いいたします。

ちなみに、H26年度の総会テーマは・・・



メインテーマをもとに、3日間の様々な講演内容を決めていく事になります。皆様が聞きたい講演内容でもかまいませんので、ドシドシご意見をお寄せください。採用された方には、優待席での参加券を御用意いたします。下記連絡先にご意見お寄せください。お待ちしております。

となっています。福岡県で5月22日から24日まで福岡県助産師会が担当県です。

一般社団法人宮城県助産師会事務局

電話・FAX:022-244-8007
miyagisanba@gmail.com

東北メディカル・メガバンクから三世代コホート調査の協力依頼が来ています。皆さんの施設の来院されている対象妊婦さんに是非お知らせください。ご協力お願いいたします。チラシ同封しています



H26年3月2日(日)エルソーラ仙台・大研修室で「震災とDV」をテーマに無料講演会が行われます。一橋大学・精神科医の宮地尚子先生の基調講演をはじめ興味深い講演内容です。詳しくは、宮城県助産師会ホームページでcheck！してくださいね。



おはようの未来へ

くっついた朝の「おはよう」から今日という未来が始まります。毎日の未来の積み重ねが、輝くあなただけの世界をつくれます。

あなたの健康が、喜びです。
東洋羽毛の羽毛ふとん since 1954

お徳経る専用羽毛は
きれいな呼吸をする「Filia」です。

東洋羽毛株式会社 仙台営業所 〒984-0092 仙台市青葉区若木1丁目1番10号 TEL:0120-023-337

東洋羽毛株式会社
TEL:0120-023-337

東洋羽毛のフリースームやクレーニング、アフターサービスもお気軽にご相談ください。

